

## 令和5年度 第1回 徳島県環境審議会環境政策部会・気候変動部会 会議録

### 1 日 時

令和5年9月13日（水）午前10時00分から （総会終了後）

### 2 場 所

徳島県庁11階 講堂

### 3 出席者

<委員> 28名中19名出席

（1号委員：環境の保全に関し学識経験のある者、五十音順、敬称略）

青葉暢子委員、天田香委員、奥嶋政嗣委員、尾田幸運委員、河野仁委員、  
岸本裕治委員、喜多三佳委員、佐藤智恵美委員、佐藤征弥委員、田淵桂子委員、  
田村和之委員、津川なち子委員、土井誠委員、長尾文明委員、中野晋委員、  
西山賢一委員、西山成実委員、橋本千栄子委員、本仲純子委員（部会長）

（2号委員：市町村長又はその指名する職員、敬称略）

井原まどか委員、寶木由起美委員

<事務局>

美保グリーン社会推進課長、小山脱炭素推進室長ほか

### ○会議次第

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

（1）徳島県環境基本計画の改定について

（2）徳島県GX推進計画（仮称）について

4 閉 会

### ○配付資料

資料1 次期（第4次）徳島県環境基本計画の改定について

資料2 徳島県GX推進計画（仮称）について

### ○議事概要

（事務局）

あいさつ、配付資料の確認

（事務局）

説明

**(部会長)**

ありがとうございました。ただいま説明がありました内容につきまして委員の皆様から御意見を頂きたいと思えます。

委員お願いいたします。

**(委員)**

計画骨子の(4)の取組展開の体系の重点のところの2つ目の好循環社会とくしまと記載されているようなのですが、これの意味もよくわからないところもあるんですが、右側の取組展開の位置付けのところの2つ目は好循環とくしまとなっております、重点と取組展開の位置付けの文言が、他の2つは揃っているんですがここだけ揃っていないようなんですがここは何か意図的に記載されているものなののでしょうか。

**(事務局)**

すみません、御指摘ありがとうございます。こちら大変失礼いたしました、正しくは好循環社会とくしまが正しい表記でございます。こちら第3期基本計画におきましても好循環社会とくしまという取組体系で設定をしております、そちらを継承するような項目となっております。大変失礼いたしました。正しくは好循環社会とくしまでございます。

**(部会長)**

どうも御指摘ありがとうございました。その他何かございませんでしょうか。

**(委員)**

一番下の方にあるパブリックコメントの集め方は県のホームページとかで募集されたりするんですけど、その他ほかに色々な人に見て貰えるような、コメントいっぱい頂けるような取組はこれから考えていらっしゃるのでしょうか。県民が主役となって進める脱炭素社会の構築というコンセプトがあるのであれば、ここに力を入れるということはされるのでしょうか。

**(事務局)**

御質問ありがとうございます。まずパブリックコメントにつきましては県の方で統一的に実施しておりますパブリックコメントの制度がございまして、まずはそちらの方で意見の方を頂きたいと思っておりますのと、仰るとおりより県民の皆様方の御意見をより多く反映させていくためとして、例えば本県、環境の方で環境県民会議というような183団体を会員といたします団体等ございます。そういった所にも御協力を仰ぐような形で多くの方に御意見を頂けたらというようなことを考えております。他にもパブリックコメント等の御意見徴収させて頂けるような所、また検討して開拓して参りたいと思っておりますので引き続き皆様方にも御協力を仰ぎたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

**(部会長)**

どうもありがとうございました。その他何かございませんでしょうか。

委員お願いいたします。

**(委員)**

よろしくお願いします。私、鳴門教育大学の方で授業をやっています、いかに環境について子どもたちが学んでいくかということを考えているんですね。その中で例えば滋賀県とかは琵琶湖に対して授業をやったりとか琵琶湖を見に行ったりとかということを積極的にやっていって、そこから考えたときに徳島は徳島独自のそういったその環境に関する教育というのを何かやっているのかなということを考えるようになりました。県民主役徳島ということで先ほどパブリックコメントについて質問がありましたが、その県民主役ということでパブリックコメントだけで主役というのは簡単すぎるかなというような気がするのですが、もし可能であるならば教育の方も巻き込んでやっていく方向というのも少しこの会の中で考えて頂けたらなと思いました。よろしくお願いします。

**(事務局)**

御意見ありがとうございます。委員御指摘の通り、特に環境教育等、今後大変重要な位置付けになろうと思えます。本日欠席されておるんですけども、例えば学校関係の教員の学校長会からの推薦頂いております先生も本会議の委員として就任頂いておるというような繋がりや、県の教育委員会の方でもGXハイスクールといった環境教育に積極的取り組んでおりますので、是非教育委員会とも連携しながら計画を進めていきたいと考えております。貴重な御意見ありがとうございます。

**(委員)**

今、御回答頂きました内容についても、こういった環境計画の中で紹介して頂いたらまたいいのかなというふうに思いますのでよろしくお願いします。ありがとうございました。

**(部会長)**

その他何かございませんでしょうか。

委員お願いいたします。

**(委員)**

計画骨子の所でございますが、重点戦略でめぐるといふ所は全てがめぐると持続可能な循環型社会となっているんですが、(4)の重点の所は好循環社会とくしまと言い切っているんですね。好循環社会と型社会というと呼称を変えているんでしょうか。

**(事務局)**

御意見ありがとうございます。こちら循環型社会の構築と循環社会の構築。ちょっと言葉の方の統一というこの辺りめぐるを受ける重点項目の設置ということで、もう少し調整をしたいと思っております。こういった言葉の粗というのは今回この場で色々御指摘頂いている所ですので、また十分に意味等をきちんと精査した上で御納得頂けるよう整理してきちんと構えていきたいと思っております。ありがとうございます。

**(委員)**

私が思うに少し型社会というのだったら軽いような感じなので。好循環社会といたら

重くなるような気がしますので、よろしく申し上げます。

**(部会長)**

ありがとうございました。事務局の方で言葉の使い方等、検討して頂けたらと思います。その他何かございませんでしょうか。委員お願いいたします。

**(委員)**

失礼します。先ほど先生が仰ったことで思いついたんですけれども、大人の方に聞くだけではなくて例えば高校生の皆さんとかに意見を聞いてみるのも良いんじゃないかというふうに思います。5年間の計画ということだと高校生の人たちはその間に成人されるわけですし、若い方の御意見も大事だと思います。御検討頂ければ幸いです。

**(事務局)**

貴重な御意見ありがとうございます。是非頂いた御意見検討させて頂きたいと思えます。

**(部会長)**

どうもありがとうございました。その他何かございませんでしょうか。

大体意見出たようですので、事務局は今後の改定作業につきまして委員の皆様御意見を反映頂けますようお願いいたします。それではこれをもちまして環境政策部会の議事を終了したいと思います。続きまして気候変動部会の部会長に進行をお願いいたします。

**(部会長)**

あいさつ

**(事務局)**

説明

**(部会長)**

ありがとうございました。ただいま事務局から御説明頂きましたけれども、こちらの内容につきまして委員の皆様から御質問とか御意見ございましたらお願いいたします。

委員お願いいたします。

**(委員)**

脱炭素関連の5計画の統合ということで、その中に徳島県気候変動対策推進計画の適応編も入っているんですが、これの計画の(4)施策体系の中にそれに該当するところがこの文言からは把握できなかったんですが、どういう位置付けにされていこうということでしょうか。教えて頂けたらと思います。

**(事務局)**

事務局から回答させて頂きます。今回適応編と緩和編を一緒にするというので、この

施策体系の中に緩和編の施策についても入れていこうと考えております。例えば適応編で言いますと事前復興、河川とか沿岸とかの整備とか。健康、これは熱中症対策とかの分については県民総ぐるみによるGXの加速とかというような項目で、緩和策が来てその後で適応策を記載していくような形でちょっと整理させて頂こうかなと考えております。以上でございます。

**(委員)**

含まれているんでしたら結構です。

**(部会長)**

ありがとうございます。

持続可能な循環型社会というのが構築されると、その中に適応編の部分が相当量含まれてくるのかなと感じますがそういう理解でよろしいですか。

**(事務局)**

その御理解で大丈夫です。

**(部会長)**

ありがとうございます。他にいかがでしょう。お願いいたします。

**(委員)**

先ほどの資料1の方でもあったんですけど、ここも用語が統一されてなくて(4)の③のところ循環型社会ですけども右の図では循環社会となっているので。

**(事務局)**

こちらの方も文言の統一をさせていただきます。

**(部会長)**

御指摘ありがとうございました。他にいかがでしょうか。

私の方から御質問させて頂きたいんですけども、こうしたクリーンエネルギーの導入とかですね、あるいは地域でそういうのを進めていく上で、予算的な措置が相当重要になってくると思うんですけども、国で令和6年から例えば施策的にこういうようなのが使えそうだとか、あるいはこれに沿った形で進めて行くとか、その辺りちょっと情報としてあれば教えて頂きたいんですけども。

一方で、昨今太陽光発電なんかを設置するところで色々トラブルが起こったりして、他県において大規模な太陽光発電は認めないという方向になっていたりします。それから風力発電、とても重要だと思ひまして徳島においては海洋の風力発電というのが大きな資源になる筈ですし、そういうのがないとなかなかクリーンエネルギーとしての導入がなかなか難しいと。その辺りの状況を御説明頂けるとありがたいなと思います。この5年間どういう形で進められるかその中での隘路となりそうになるものとか、あるいはそれを支援して頂けるような制度、その辺りを理解出来ると、実際に策定に当たって参考に出来るのではないかと思います。よろしく申し上げます。

### (事務局)

部会長の方から御質問頂きました。まず予算の動向なんですけれども、特に国の関係の予算と言いますとこの間8月30日、国の概算要求が示されておりまして、環境省におきましてもやはり脱炭素を大きな柱といたしました予算要求が出されておるところでございます。私共も、国の予算最大限活用して本県ならではの施策に反映させていきたいと考えてございますが、内容はまだ国の方が予算の編成中でございますので動向につきましては十分注視して、活用できるものは十分活用していきたいと考えてございます。

また県の方でも予算にいたしましても、今年度これまで実施出来ていなかったEVの関係の補助金とか、それから国の太陽光、住宅への太陽光発電、パネルの設置、それから蓄電池の設置、それからV2H、車から家への設置というようなところで6月補正予算で新たに設置いたしまして取組を強めておるところでございます。こちらの方も引き続き補助金の進行状況とか、お申し込み頂いた皆様、事業者の皆様のお声も含めまして来年度予算の方に繋げていきたいと考えてございます。

それから太陽光とか風力ということで部会長の方から頂きました。確かに太陽光、一番新しいのでしたら例えば不法な登記をした土地の上に太陽光パネルがあつて、大きなインフラでしたら新幹線の通行を妨害したという事件もございましたし、風力にいたしましても本県でもございましたが自然や生物多様性豊かな所に風力発電、陸上風力があつたというようなところでございます。

私共の考え方といたしましては、当然ながら自然エネルギーの導入というのはあくまで温暖化とかそれから地球環境を守りながらということがメインでございますので、そうした生物とかそれから自然とか共生できる形での導入ということも進めて頂きたいと考えてございます。実際に阿南市さんの方で脱炭素促進区域というものを作っておるんですけれども、その促進区域の設定にあたりましては私共の方で、例えば森林なり土砂なりの環境を規制する。規制がかかった土地は促進区域にしないようにと示したものを作っておりますので、先ほども申しました自然との共生、生物との共生という整合の中で進めていきたいと考えております。以上でございます。

### (部会長)

ありがとうございます。自然エネルギーを導入する上でもとても重要な部分ですので、こういった推進計画をまとめる中でも配慮した形で記載頂ければというふうには思いますのでよろしくをお願いします。

他にいかがでしょうか。委員お願いいたします。

### (委員)

すみません。よろしくをお願いします。

先ほどの政策部会で提示された資料1と今回の気候変動部会での資料2を見比べさせて頂きますと、資料1の方の基本計画の方で重点戦略でGX展開を中心に計画を作るのが、この資料2のGX推進計画に該当していると思うんです。その同じような計画が同時平行的に今後進められていくんですが、その重点戦略の所を見ますと基本計画の方めぐる、まもると2つ残ってございましてその下の取組展開の体系というと、資料2の施策体系の所を見てみますと、GXの方はかなり重点施策に踏み込んだ形で5本柱を作られておると。

しかし、主となる環境基本計画の方は、重点戦略をそのまま焼き直した形の言葉しか並んでいないので同時平行的に計画を作り進めていくのであればやはり、資料2のように施策体系をきっちりと並べた方がある程度わかりやすいのではないかなと思うので、また工夫して頂けたらと。次の部会の時にまた出てくるんですけど、ご検討頂けたらと思います。

**(事務局)**

御意見有り難うございます。現在基本計画につきまして、あくまで現段階骨子という状態でございます。委員から頂いた御意見等反映させた上で具体的な詳細を構築していこうと思っております。御意見ありがとうございます。

**(部会長)**

御意見どうもありがとうございました。他にいかがですか。  
それでは委員お願いいたします。

**(委員)**

この基本計画の方の、それから気候変動部会の方の計画骨子として県民コンセプトとして、県民が主役となって進める脱炭素社会の構築ということで、本当にこれはそれぞれ県民が自分のこととして、こういうことに取り組んでいこうという願い、行動、推進かと思うのでそれはすごく素晴らしいことだと思っています。それを進めて行くために県としても迅速な情報提供であったりとか、きめ細かな情報発信を今後途切れることなく進めていって欲しいなと思っております。

それともう一つ気候変動部会の適応策の所の、持続可能な循環型社会の構築という所に大きくひっくるめられるということで納得はしたんですけども、今後適応策でさまざまな農産物とか水産物とかの品種の改良とかそういったことも非常に重要なことになってくるかと思しますので、そうした所も含めて考えて頂ければと思います。以上です。

**(事務局)**

ありがとうございます。まず情報発信につきまして御意見頂いております。仰るとおり県民、私共の計画のコンセプト、県民主役ということでございます。県全体の大きな課題でもございますが、県政それぞれの情報発信、情報を必要な方に必要な時にお届けするという大きな課題はございます。その中で今までホームページでありますとか、テレビ、新聞、色んな媒体使ってやっておるところでございますけれども、やはりそうした必要な情報を必要な方に届けるということにつきましては、更なる工夫が必要と考えてございますので、先ほど委員から頂きました御意見を、肝に銘じて色々な取組をさせて頂きたいと思っております。

それから適応の品種改良との話でございますが、当計画、私共グリーン社会推進課だけで進めるものではございません。当然ながら農林水産部、必要に応じて各商工労働観光部との連携の元に進めて参りますので、先ほど頂きました御意見、関係部局と共に進めて参りたいという考えでございます。以上でございます。

**(部会長)**

委員お願いいたします。

**(委員)**

何度もすみません、今御回答頂いた内容なんですけれども情報発信の中身として先ほど部会長が言われたような、予算がどういうものに使われたというような結果みたいなものを、こういうものが出来ましたとかこういう効果がありましたみたいなことも情報発信の中に加えて頂くと、県民としてもこんな効果があったんだとか、そういうことがわかっていいのかなと思いましたので、是非ご検討頂けたらというふうに思います。よろしく願いします。

**(事務局)**

ありがとうございます。当然予算を執行する側で言いますと、その評価としての御意見賜るような形が必要と。PDCAサイクルを回していかなければとは考えてございます。先ほど総会の方でも御報告させて頂きましたが、その行動の指標に対する評価みたいな形で達成、概ね達成、それから努力が必要と未達成と書いておりますので。その中で具体的な御報告を出来るような形を考えてみたいと思います。ありがとうございます。

**(部会長)**

他にいかがでしょうか。委員お願いします。

**(委員)**

個人的なことなんですけど、情報発信というのは官報というなかで県の発信だと非常に硬い感じがするんです。馴染みが薄いので、私個人としては情報とか市の広報があるんですけど、それは隅々まで見てしまうんですよ。徳島県として出てくるものは少し馴染みが薄くて入りにくいので申し訳無い。だから市報や町報の中で少し漫画的にでも入れてくだされば、県民の全ての方に目に入るのではないかと思うんですけど。これはまた少し考えてくださればと思います。

**(事務局)**

貴重な意見ありがとうございます。国の情報、官報とか徳島県も該当する県報というものがあってなんですけれども、そちらの広報。本日多分、新聞に入ってたと思うんですけどもOUR徳島という広報紙もございます。委員仰ったように情報紙がどうしても紙面の部分が限られますので、どれだけアニメとか絵みたいな形、それから出来ればグラフとかそういう見た感じ、すぐにわかる形がいいと当然私共もわかっておるんですけども、そういう情報紙の方は若干紙面的な制約がございますので。工夫はさせていただきますが、そういう制約があることだけはご了承頂ければと。ただホームページとかにつきましては、工夫は凝らしていくべきと考えてございますので、計画そのものが出来上がった際には当然ながらその計画の本体は載せますし、概要を載せる際には、その見た感じでわかるような、先ほど委員の仰った部分を含めまして考えてみたいとは思っています。ありがとうございます。

**(部会長)**

なかなか行政の広報というのは上手くない、難しいという点があると思うんですけど、これはこの委員会だけではなくて県の組織全体の話ですけれども是非色々考えてみて



頂ければと思います。非常に良い御意見ありがとうございました。

他にいかがですか。本当に活発に御発言頂いたので色んな意見が出て良かったなと思います。私個人的な意見ですけど実は今年、昨年度末ぐらいに家庭用の蓄電池を導入しました。県の補助金が出ないかなと長年待ってたんですが、県も市もそういった情報がなかったものですから。でも非常に有効で、先日近くで電気の工事、電柱の取り替えがあつて3時間ほど停電の予定があつたんですけど。うちも一生懸命冷蔵庫は開けないようにしてしっかり準備してたんですが、全然電気切れずに、停電もなくて終わりました、そういえば蓄電池入れたからこういう効果があるんだと思って、非常に嬉しく思った次第です。

是非皆さんも折角の機会がありますので、こういう県とか今後、市町でもそうした取組が始まると思いますので。

先ほど委員が仰った通り県民が主役の取組という点では一人一人を進めていかないと、トータルの目標達成は出来ませんので、是非委員の皆さんもご検討頂ければと思います。

ちょっと長々喋ってしまいましたけれど、御意見も出尽くしたようでございますので、この議題の方は終わりにしたいと思いますけれども、皆さんから頂きました御意見も参考にしながら、推進計画の策定を進めて頂ければというふうに思っております。何卒よろしくお願いたします。委員の皆様御協力賜りましてどうもありがとうございました。それでは事務局の方に進行をお返しいたします。

**(事務局)**

ありがとうございました。なお各部会の次回開催につきましては議事の中でも御説明しましたとおり、計画の3についての御審議となりますが11月を予定しておりますのでまたどうぞよろしくお願いたします。

それでは閉会にあたりまして美保課長の方からお礼を申し上げます。

**(事務局)**

あいさつ

**(事務局)**

以上をもちまして、徳島県環境審議会環境政策部会及び気候変動部会を閉会いたします。

本日はどうもありがとうございました。